## ○国土交通省告示第五百十号

ホ  $\mathcal{O}$ 建 規 築 定 基 12 準 基 法 づ 施 き、 行 令 階 昭 避 難 和 安 全 + 検 五 証 年 法 政 令 に 関 第 す る 百  $\equiv$ 算 + 出 方 八 号) 法 等 を 第 定 百  $\Diamond$ + る 件 九 条 平 第  $\equiv$ 成 十 二 項 第 年 号 建 設 イ、 省 告 口 示 第 二 千 及 几 U

令和二年四月一日

百

兀

+

号)

 $\mathcal{O}$ 

全

部

を

改

正

す

る

告

示

を

次

 $\mathcal{O}$ 

ょ

う

に

定

8

る

## 国土交通大臣 赤羽 一嘉

建 築 階 基 準 か 法 5 施  $\mathcal{O}$ 避 行 令 難 に 昭 要 す 和 る + 時 間 五 年 に 基 政 令 づ 第 < 三 階 百 避  $\equiv$ 難 + 安 全 八 号。 検 証 以 法 下 12 関 令 す \_ る 算 لح 出 1 う。 方 法 等 第 を 定 百  $\Diamond$ + る 九 件 条 第 三 項

す る 算 出 方 法 等 を 次  $\mathcal{O}$ ょ う 12 定 8 る。 第

号

イ、

口

=

及

U

ホ

 $\mathcal{O}$ 

規

定

に

基

づ

き、

階

か

5

 $\mathcal{O}$ 

避

難

に

要

す

る

時

間

に

基

づ

<

階

避

難

安

全

検

証

法

に

関

時 12 間 存 令 す 第 は  $\mathcal{O}$ 全 る者 百二 7 次 + に が **(当** 当 九 掲 該 条 げ 該 居 第 る 居 室 室 三 時 を 項 間 12 通 第 を お 合 5 1 号 計 な 7 に け 火 L 災 規 7 れ 定 計 が ば す 算 発 避 生 る す 難 方 す る 法 ること 7 £ を か  $\mathcal{O}$ 用 لح 5 が す 当 1 る 該 で る き 場 居 室 な 合 か 1 12 者 5 お け を  $\mathcal{O}$ 含 避 る 難 む 同 号 を 終 1 以 了 下 に す 規 る 在 定 す ま 室 者 で る 当 に 要 لح 該 す 居 1 る う 室

1 下 次 居  $\mathcal{O}$ 室 式 澼 に 難 ょ 開 0 始 て 計 時 間 算 L لح た 1 火 う。 災 が 発 生 単 L 位 て か 分 5 在 室 者 が 避 難 を 開 始 す る ま で に 要 す る 時 間

以

 $t_{start(room)}$ 11

 $t_{start(room)}$ 

 $A_{area}$ 

当

該

居

室

及

び

当

該

居

室

を

通

5

な

け

れ

ば

避

難

することが

で

き

な

1

建

築

物

 $\mathcal{O}$ 

部

分

以

下

当

該

居

室

等

لح

1

う。

 $\mathcal{O}$ 

各

部

分

 $\mathcal{O}$ 

床

面

積

単

位

平

方

メ

1

ル

 $\mathcal{O}$ 

式

12

お

1

及

び

は

そ

れ

ぞ

れ

次

 $\mathcal{O}$ 

数

値

を

表

す

ŧ

 $\mathcal{O}$ 

Aarea

 $t_{start(room)}$ 

居 室 避 難 開 始 時 間 単 位

分

通 階 次 段  $\mathcal{O}$ 式 に 避 難 ょ 階 0 て 又 計 は 地 算 上 L 12 た 通 在 ず 室 者 る £ が 当  $\mathcal{O}$ 12 該 限 居 室 り 等 避  $\mathcal{O}$ 難 各 階 部 に 分 か あ 0 5 当 7 該 は 地 居 上 室  $\mathcal{O}$ 以 出 下 П 同 当 じ 該 居 室 当 か 該 5 直 直

口

通

階

が

令

第

百

+

 $\stackrel{\cdot}{\equiv}$ 

条

第

に

規

定

す

る

特

別

避

難

段

で

あ

る

場

合

12

あ

0

7

は

当

該

直

通

段

 $\mathcal{O}$ 出 段 П を 有 す る 室 を 同 項 第  $\equiv$ 項 号 、 第 兀 号、 第 六 号 及 階 U 第 九 号 ( ) れ 5  $\mathcal{O}$ 規 定 中 バ ル コ = 階 又

係 は 付 る 部 室 分 に 係 に 限 る 部 る 分 に に 限 定 る。 8 る 構 並 造 び と に 第 L た 十 号 ŧ  $\mathcal{O}$ 12 バ 限 ル る。 コ = 以 又 下 同 は U° 付 室 か に 6 階 通 ず 段 る 室 主 に た 通 る ず 廊 る 下 出 そ 入  $\mathcal{O}$  $\Box$ 他 に

 $\mathcal{O}$ 通 路 に 通 ず る 出  $\Box$ に 限 る。 以 下 同 じ。 ・ 0) に 達 す る ま で に 要 す る 歩 行 時 間  $\mathcal{O}$ う 5 最 大  $\mathcal{O}$ ŧ

- 2 -

 $\mathcal{O}$ 単 位

分)

 $t_{travel(room),i} = \sum \frac{l_{room}}{v}$ 

 $\mathcal{O}$ 式 に お 1

 $t_{travel(room),i}$ 

vは、 それぞり れ 次 0 数 値 を表 すも のとする。

 $t_{travel(room),i}$ 

 $l_{room}$ 及び

在 室 者 が 当 該 居 室 等 0) 各 部 分 か 5 当 該 居 室  $\mathcal{O}$ 出  $\square$  $\mathcal{O}$ に 達 す るま で に 、 要 す る歩

間 単 位 分

lroom

当 該 居 室 等  $\mathcal{O}$ 各 部 分 か 5 当 該 居 室  $\mathcal{O}$ 出  $\Box$  $\mathcal{O}$ に 至

る歩

行

距

離

単

位

メ

1

ル

v 建 築 物  $\mathcal{O}$ 部 分  $\mathcal{O}$ 用 途 及 び 種 類 並 び に 避 難  $\mathcal{O}$ 方 向 に応応 じ、 それぞれ次  $\mathcal{O}$ 表 に . 定 める歩

行 速 度 単 位 メ 1 ル 毎 分)

分の 用 途 建 築物

 $\mathcal{O}$ 

部

分

 $\mathcal{O}$ 

種

建

築物

0)

部

類

避 難  $\mathcal{O}$ 方

向

歩 行

速度

行 時

施設等(令第百十五巻の他これらに類する用途(病院、その他これらに	ンより也によっては共同住宅、	11つこ頁ける貨店、展示場そ	<del>-</del>	い 大 え え え	こ頃ける月金 集会場その他こ	易、現造易、公公堂劇場、映画館、演芸 階
の他の部分		段	の他の部分	客席部分		段
l	下り	上り	_	Ι	下り	上り
六〇	计二	11七	べつ	1110	川长	11七

学 校 れらに類する用途 )、事務所その他こ 定こども園を除 )を除く。) をいう。 する児童 条の三第一号に規定 (幼保連 以 下 福 祉 携型認 同 施 設等 < Ü 階段 その 他 0) 部 分 上り 下り 三 五 四七 七八

 $t_{queue(room)} = \frac{\sum pA_{area}}{\sum N_{eff(room)}B_{eff(room)}}$ 

ハ

次の式によって計算した在室者が当該居室の出口を通過するために要する時間(以下「居室

出口

通過時間」という。)(単位

分

- 5 -

		T	Γ	1 ,	p	$t_{queue(room)}$	<u>C</u>
その他の場合	室住宅以外の建築物における寝 固定ベッドの場合	住宅の居室	建築物の部分の種類	―――――――――――――――――――――――――――――――――――――	建築物の部分の種類に応じ、それぞれ次の表に定める在館者	居室出口通過時間(単位 分)	式において、 tqueue(room) Aar、Neff(room) Beは、それぞれ次の数値を表ののののののののののののののののののののののののののののののののののの
<ul><li>一六</li></ul>	除した数値べッド数を床面積で	<ul><li>○・○六</li></ul>	在館者密度		(者密度 (単位 一平方メ		表すものとする。

一・五	その他の場合	室を対する月辺に付する月
した数値座席数を床面積で除	固定席の場合	らこ頂片 公月金 こせける、公会堂、集会場その他場、映画館、演芸場、観
<ul><li>し・七</li></ul>		飲食室
<ul><li>○・二五</li></ul>	売場に附属する通路の部分	舎その化これられ来でる
○ · 五	売場の部分	店舗との也にいうこ頁からら百貨店又は物品販売業を営む
〇・七		教室
〇· 一二五 五	に類するもの	事務室、会議室その他これらに
_		_

展示室その他これに類するもの

 $N_{eff(room)}$ 

 $A_{area}$ 

当 該 居室 等  $\mathcal{O}$ 各 部 分  $\mathcal{O}$ 床 面 積 単 位 平 方 メー ŀ

当 該 居 室  $\mathcal{O}$ 各 出 П  $\mathcal{O}$ 幅 当 該 居 室  $\mathcal{O}$ 種 類 及 び 当 該 居 室  $\mathcal{O}$ 各 出  $\Box$ に 面 する 部 分 (以 下

る式 居 によ 室 避 つ 難 て 経 計 路 算 等 L  $\mathcal{O}$ た当該居室の各 部 分 とい う。 出  $\mathcal{O}$ П  $\mathcal{O}$ 収 有 容 効 可 流 能 動 人 係 数 数 に 応 単 じ、 位 それ 分メ ぞ れ 次 1  $\mathcal{O}$ ル 表 に に 掲 0 き げ

1

· 五

$N_{eff(room)} = max \left( \frac{80B_{neck(room)} \sum \frac{A_{co}}{a_{n(room)}}}{B_{room} \sum pA_{load(room)}}, \frac{80B_{neck(room)}}{B_{load(room)}} \right)$	$\sum rac{A_{co}}{a_{n(room)}} < \sum pA_{load(room)}$ である場合		
$N_{eff(room)} = 90$	$\sum rac{A_{co}}{a_{n(room)}} \geqq \sum pA_{load(room)}$ である場合	合 そ の 他 の 場	
$N_{eff(room)} = 90$	1	場合するの出	場 合 他 の
			ある 場合

ک ŧ  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$  $A_{co}$  $N_{eff(room)}$  $a_{n(room)}$ とす 合 は 表 必 分 当 当 に 当 12 要 当 1 該  $\mathcal{O}$ る。 滞 当 該 該 あ 該 お ル 種 居 該 居 留 居 居 0 1 類 室 て 居 室 室 て、 面 室 避 は、 室 避 積 避  $\mathcal{O}$ 難 難 各  $N_{eff(room)}$ 難  $\mathcal{O}$ 経 経 そ 存 単 経 出 路 路  $\mathcal{O}$ 位 路 す  $A_{co}$ 等 等 等 直 る  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 階 有  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 上  $a_{n(room)}$ 部 階 部 部 効 人 か 分 に 5 流 分 分  $\mathcal{O}$ ま そ  $\mathcal{O}$ 動 0  $\mathcal{O}$ 各 き 各 で 各 係  $A_{load(room)}$  $\mathcal{O}$ 部 平 直 数  $\mathcal{O}$ 部 部 階 分  $B_{neck(room)}$ 方 分 下 段 単 階 メ  $\mathcal{O}$ **(当**  $B_{room}$ 種 室 位 及 に 当 該 1 類 び 限 部 該 ル 12  $B_{load(room)}$ 応 分 る。 分 居 は じ、 室 が メ 必 階  $\mathcal{O}$ 要 そ 段 そ  $\mathcal{O}$ 存 1 滞 れ 室 床 す れ ル 留 ぞ ぞ る で に 面 面 れ 積 階 あ つ れ 積 次 き人) る 次 が  $\mathcal{O}$ 単 場 地  $\mathcal{O}$ 数 合 位 階 表 値 に に で を 定 あ 平 あ 表 方 る 8 0

メ

る

7

場

す

のうち最小のもの (単位ずる当該居室避難経路等の	階段に通ずるものに限る。)の幅の 当該出口の幅又は当該出口の通ざ
( [:	トル)
ものに限る。)の末なければ避難するこ	各部分(当該居室の存する階にあるAload(rook) 当該居室避難経路等の部分を通ら
ルにつき人)	<ul><li>p 在館者密度(単位 一平方メート</li></ul>
	居室又は廊下その他の通路
	階段室
	階段の付室又はバルコニー

 $B_{eff(room)}$ 各 る 当 出 ま 当 該  $B_{load(room)}$  $B_{room}$ で 該  $\Box$ 居  $\mathcal{O}$ で 居  $\mathcal{O}$ に 当 室 通 き 当 有 要 室 ず 該 な 該  $\mathcal{O}$ す 効  $\mathcal{O}$ る当 各 出 出 1 出 各 る 出  $\Box$ 建 П 時  $\Box$ 出 該 築  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$  $\Box$ 間 幅  $\Box$ 居 幅 通  $\mathcal{O}$ 物 に  $\mathcal{O}$ ず 室 幅  $\mathcal{O}$ 単 応 幅 単 避 る 部 じ、 位 及 当 難 位 出 在 火 分 び 室 災 経 該  $\Box$ **(当** そ 火 メ 者 が 路 居 メ  $\mathcal{O}$ 災 れ ] 等 発 該 室 が ぞ 1 が に 当 生  $\mathcal{O}$ 避 1 居 発 ル れ 達 該 部 室 難 L 次 生 す 居 7 経 分  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ L 室 る に 存 路 カン 7 表 ま 面 等 5 す  $\mathcal{O}$ に か す る  $\mathcal{O}$ 撂 5 る 階 部 げ 在 出 分 に 当 る 室 を  $\Box$ あ 該 式 者  $\mathcal{O}$ る 通 居 に が 5 幅 ŧ 室 当 ょ な  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 0 該 け 合 に 各 て 居 計 限 n 出 計 室 る。 ば  $\Box$ 算  $\mathcal{O}$ 単 避  $\mathcal{O}$ 出 L 位 難 有 た  $\Box$ す  $\mathcal{O}$ 効 当  $\mathcal{O}$ る 当 メ 出 該 ] 該  $\Box$ 居 に لح 1 出 幅 室 達 が ル  $\Box$ す  $\mathcal{O}$ 

それぞれ次の数値を表すものとする。	$\alpha_f$ 、、 $\alpha_m$ 、、 $B_{eff(room)}$ 及び $B_{room}$ は、そ	この表において、 t <sub>reach(room)</sub>
$B_{eff(room)} = B_{room}$		その他の場合
$B_{eff(room)} = max (B_{room} - 7.2\sqrt{\alpha_f + \alpha_m} t_{reach(room)} + 1.0)$	$t_{reach(room)} > \dfrac{0.14}{\sqrt{a_f + a_m}}$ で ある 場合	
$B_{eff(room)} = B_{room}$	$t_{reach(room)} \leqq \dfrac{0.14}{\sqrt{a_f + a_m}}$ である場合	大のものである場合室の出口の幅が当該居
	でに要する時間	

 $t_{reach(room)}$  $t_{reach(room)} = t_{start(room)} + t_{travel(room)}$ 達 す 次 るまでに  $\mathcal{O}$ 式 に ょ 要 0 へする て 計 時 算 間 た 火火 単 災 位 が 発 分 生 L 7 か 5 在 室 者 が 当 該 居 室  $\mathcal{O}$ 出 口  $\mathcal{O}$ 

に

 $\mathcal{O}$ 式 に お  $t_{reach(room)}$  $t_{start(room)}$ 及 び  $t_{travel(room)}$ は、 それ ぞ れ 次  $\mathcal{O}$ 数 値 を 表 す ŧ  $\mathcal{O}$ 

 $t_{travel(room)}$  $t_{start(room)}$  $t_{reach(room)}$ す 1 る 火 口 災 に 時 規 規 間 が 定 定 発 単 す す 生 る る 位 L 在 居 7 室 室 分 か 者 避 5 が 難 在 当 開 室 該 始 者 が 居 時 室 間 当 等 該 単 居  $\mathcal{O}$ 各 位 室 部  $\mathcal{O}$ 分 分 出 か 口 5  $\mathcal{O}$ 当 該 12 居 達 室 す る  $\mathcal{O}$ ま 出 とする。 で  $\Box$ に  $\mathcal{O}$ 要

表に掲げ 当 該室 に達するまでに要する歩行時 る式によって計算  $\mathcal{O}$ 積 載 可 燃物 の 一 平方 L た積載 メ | |-可燃物 間 ル当たり のうち最大のもの  $\mathcal{O}$ 火 り Ó 災成長率 発熱量 ( 単 位 に応じ、 それぞれ 分)

次の

(単位 一平方メートルにつきメガ次の表に定める当該室の積載可燃物	ジュール)の一平方メートル当たりの発熱量(単の一平方メートル当たりの発熱量(単
次の数値を表すものとする。	この表において、『及び『は、それぞれ
$a_f = 2.6 \times 10^{-6} q_l^{5/3}$	<i>q<sub>l</sub></i> > 170である場合
$lpha_f=0.0125$	$q_l \le 170$ である場合
積載可燃物の火災成長率	当該室の積載可燃物の一平方メートル

八〇	体育館のアリーナその他これに類するもの
四〇〇	教室
一六〇	会議室その他これに類するもの
五六〇	事務室その他これに類するもの
	住宅以外の建築物における寝室
七二〇	住宅の居室
物の一平方メート当該室の積載可燃	当該室の種類

四〇〇	の 固 定 席	客席部分	観覧場、公会堂、集会室   劇場、映画館、演芸場、
四八〇	食室	その他の飲	
二四〇	书	簡易な食堂	飲食店その他の飲食室
四八〇	分	その他の部	
	)	するも	するもの
九六〇	言籍の 売	場その他こ	営む店舗その他これらに百貨店又は物品販売業を
二 四 〇	ら に 類	の展示室その他これらに類	するもの博物館又は美術館の展示家

他の通路	六〇	芸場、観覧場、公劇場、映画館、演	他これらに類するもの玄関ホール、ロビーその
自動車修 車室その他これに 類する部分 の場合	 11 1		の 通
自動車修 車室その他これに	 11 1 1	する部分路その他これ	
台部分の場合	 11回〇	する部分室その他これ	動 車
場 の 合 他		台 部	
************************************	 四八〇	場の	する

一六〇	昇降機その他の建築設備の機械室
八〇	その他のもの
	0
	これらに類するも
	ル、ロビーその他
	建築物の玄関ホー
	する用途に供する
	その他これらに類
	販売業を営む店舗
	貨店若しくは物品
	類する用途又は百
	場その他これらに
	会堂若しくは集会

	当該室の内装仕上げの種類内装材料の火災	成長率 当該室の内装仕上げの種類に応じ、それぞれ次の表に定める-	αη 積載可燃物の火災成長率		屋上広場又はバルコニー
〇·〇〇三五	材 料 の	に 定 め		1, 000	八〇

	(一及び)に掲げるものを除くの(一及び)に掲げる仕上げとしたも項第一号に掲げる仕上げとしたも	
〇・〇五六	壁及び天井の室内に面する部分の	(=)
	()に掲げるものを除く。)	
	)	
	壁及び天井の室内に面する部分の	()
	したもの	
	て同じ。)の仕上げを不燃材料で	
	る部分を除く。以下この表におい	
	一回り縁、窓台その他これらに類す	

 $B_{eff(room)}$  $B_{room}$  $(\underline{\mathbb{D}})$ 当 当 該 該 出 居 撂 材 壁 仕 室  $\Box$ げる 料 及 上 0  $\mathcal{O}$ で げ び 幅 各 Ł 天 L を 出 単 のを除く。) た 木 井  $\Box$ ŧ,  $\mathcal{O}$ 材 位  $\mathcal{O}$ 室 そ  $\mathcal{O}$ 有 内  $\mathcal{O}$  $\widehat{(-)}$ メートル) 効 他こ に 出 カン 面 口 ロする 5 れ 幅  $(\overline{\underline{-}})$ に まで 部 単 類 分 す 位 に る  $\mathcal{O}$ メー トル) 〇 : 三 五

はガス

( 以 下

煙

等」

という。

が

避

難

上

支

障

 $\mathcal{O}$ 

あ

る

高

さまで降下するため

に要す

る

時

間

以

令第百二十九

条第三

項

第

号

口

に

規

定

する当時

該

居

室

に

お

**(** ) て

発 生

L

た火災

12

ょ ŋ

生

じ

た 煙

又

下

「居室煙降下時間」

という。

は、

次

 $\mathcal{O}$ 

式

によ

つ

て計算するものとする。

 $t_{s(room)} =$  $max(V_{s(room)}-V_{e(room)},0.01)$  $A_{room}(H_{room}-1.8)$ 

- 22 -

 $\mathcal{O}$ 式 に お 1  $t_{s(room)}$  $A_{room}$  $H_{room}$  $V_{s(room)}$ 及 び  $V_{e(room)}$ は、 そ れぞれ 次  $\mathcal{O}$ 数 値 を表 すものとする。

 $t_{s(room)}$ 居 室 煙 降 下 時 間 単 位 分

 $A_{room}$ 

当 該 居 室  $\mathcal{O}$ 床 面 積 単 位 平 方 メ ] ル

 $H_{room}$ 当 該 居 室  $\mathcal{O}$ 基 準 点 床 面  $\mathcal{O}$ 最 ₽ 高 **,** \ 位 置 を 1 う。 以 下 同 U. カン 5 天 井 ま で  $\mathcal{O}$ 高 さ

 $\mathcal{O}$ 

亚 均 単 位 メ ] ル

 $V_{s(room)}$ 次  $\mathcal{O}$ 式 によ って 計算 L た当該 居 室  $\mathcal{O}$ 煙等発生量 (単位 <u>\\</u> 方 メ

 $V_{s(room)} = 9 \left\{ \left( \alpha_f + \alpha_m \right) A_{room} \right\}^{1/3} \left\{ H_{low}^{5/3} + \left( H_{low} - H_{room} + 1.8 \right)^{5/3} \right\}$ 

 $\mathcal{O}$ 式 に お 1 て  $V_{s(room)}$  $\alpha_f$  $\alpha_m$  $A_{room}$  $H_{low}$ 及 び  $H_{room}$ は、 それ ぞ れ 次 0 数 値 を 表 す É のとする

 $V_{s(room)}$ 当 該 居 室  $\mathcal{O}$ 煙 等 発 生 量 単 位 <u>\f\</u> 方 メ ] 1 ル 毎 分

- 23 -

ル

毎

分

 $V_{e(room)}$ 

次

 $\mathcal{O}$ 

イ

又

は

口

に

掲

げ

る

当

該

居

室

 $\mathcal{O}$ 

区

分

に

応

じ、

そ

れ

ぞ

れ

当

該

イ

又

は

口

に

定

 $\otimes$ 

る

当

該

居

メ

 $\vdash$ 

 $\mathcal{O}$ 

 $H_{room}$  $H_{low}$  $A_{room}$ 当 当 当 該 該 該 居 居 居 室 室 室  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 基 床 床 準 面 面 点  $\mathcal{O}$ 積 か 最 単 ら ŧ 天 低 位 井 1 平 位 ま 置 方 で  $\mathcal{O}$ カン メ 高 5 さ 天 1  $\mathcal{O}$ 井 ル

 $\alpha_m$ 

前

号

ノヽ

に

規

定

す

る

内

装

材

料

 $\mathcal{O}$ 

火

災

成

長

率

 $\alpha_f$ 

前

号

ハ

に

規

定

す

る

積

載

可

燃

物

 $\mathcal{O}$ 

火

災

成

長

率

ま で  $\mathcal{O}$ 高 さ  $\mathcal{O}$ 平 均 単 位

メ

平 均 単 位 メ  $\vdash$ 

1 室 床 有 効 面 積 排 煙 千 五. 量 百 単 平 方 位 メ 立 方 1 ル 以 内 ル لح 毎 に、 分) 天 井 面 か 5  $\equiv$ + セ ン チ メ ] 1 ル 以 上 下 方 12

料 突 出 造 L た 垂 れ 壁 覆 そ  $\mathcal{O}$ 他 れ ک れ لح 同 等 以 上 に 煙 垂  $\mathcal{O}$ 流 れ 壁」 動 を 妨 7) げ る 効 力  $\mathcal{O}$ あ る ŧ 区  $\mathcal{O}$ で、 れ 不 燃 材

で

Ŋ

又

は

わ

た

Ł

 $\mathcal{O}$ 

以

下

防

煙

کے

う。

に

ょ

0

7

画

さ

た

居

室 床 面 カン ら 防 煙 垂 れ 壁  $\mathcal{O}$ 下 端 ま で  $\mathcal{O}$ 高 さ が 八 メ ] 1 ル 以 上 で あ る 場 合 に 限 る。

 $\mathcal{O}$ 号 次 12  $\mathcal{O}$ 式 お 1 に 7 ょ 同 0 ľ て 計 算  $\mathcal{O}$ L 有 た 効 各 排 防 煙 煙 量 区  $\mathcal{O}$ 画 う 5 防 最 煙 小 垂  $\mathcal{O}$ れ ŧ 壁  $\mathcal{O}$ で 区 単 画 位 さ れ 立 た 方 部 メ 分 を 1 11 う ル 毎 分 以 下

- 24 -

この 式 に お ١ ر て、  $V_{e(room),i}$  $A^*_{(room)}$ 及 び E<sub>(sc)</sub> は、 それ ぞ れ 次  $\mathcal{O}$ 数 値 を 表 すものとする。

 $A^*_{(room)}$  $V_{e(room),i}$ 

各 防 煙 区 画  $\mathcal{O}$ 有 効 排 煙 量 単 位 立 方

メー ŀ ル 毎分)

当 該 防 煙 区 画  $\mathcal{O}$ 壁 又 は 天 井 ic. 設 け 5 れ た開  $\Box$ 部  $\mathcal{O}$ 床 面 か 5 0 高さが一・ 八 メ

1 ル 以 上  $\mathcal{O}$ 部 分 ) 以 下 有 効開 П 部 とい う。 )  $\mathcal{O}$ 有 無 及  $\mathcal{U}$ その 上  $\mathcal{O}$ 排 端 煙  $\mathcal{O}$ 効 位 果 置

係 に 応じ、 数 それ ぞ れ 次  $\mathcal{O}$ 表 に 撂 げ る式 によ って計算し た当 該 防 煙 区 画

有 効 有 効 開 開  $\Box$  $\Box$ 部 部 が  $\mathcal{O}$ な ١ ر 有 無 場 有 上端 効 開  $\mathcal{O}$  $\Box$ 位 部 置  $\mathcal{O}$ 当 該 防 煙 区 画  $\mathcal{O}$ 排 煙 効  $A_{(room)}^* = 0$ 果 係数

- 25 -

**(room)   当該防煙区画の排煙効果係数とする。	この表において、 A* <sub>(room)</sub> 、		有効開口部がある場	合
排煙効果係数	$H_{st(room)}$ $H_{w(room)}$ $H_{top(room)}$ $A_{sc}$	H <sub>st(room)</sub> ≧H <sub>w(room)</sub> である場合	$\overline{H_{st(room)}} < H_{w(room)}$ である場合	
	AsのびArは、それぞれ次の数値を表すものである。	$A_{(room)}^* = 0.4 \left( \frac{\overline{H_{st(room)}} - 1.8}{H_{top(room)} - 1.8} \right) + 0.6 \left( 1 - \frac{A_{sc}}{A_{room}} \right) \left( \frac{\overline{H_{st(room)}} - H_{w(room)}}{\overline{H_{st(room)}} - 1.8} \right)^2$	$A_{(room)}^{*}=0.4 \left(rac{\overline{H_{st(room)}}-1.8}{\overline{H_{top(room)}}-1.8} ight)$	

 $E_{(sc)}$ 

防

煙

区

画

12

設

け

5

た

有

効

開

 $\Box$ 

部

 $\mathcal{O}$ 

種

類

同

表

(-)

又

は

 $(\underline{\phantom{a}})$ 

に

げ

る

ŧ

 $\mathcal{O}$ 

で

あ

る

場

 $A_{sc}$  $H_{top(room)}$ 

当

該

井

ま

で

 $\mathcal{O}$ 

高

さ

<u>つ</u>

うち

最

大

 $\mathcal{O}$ 

ŧ

 $\mathcal{O}$ 

単

位

メ

 $\vdash$ 

ル

 $H_{w(room)}$ 

で  $\mathcal{O}$ 高 さ  $\mathcal{O}$ 平 均 単

 $H_{st(room)}$ ま

当

該

居

室

 $\mathcal{O}$ 

基

潍

点

か

5

当

該

防

煙

X

画

12

設

け

5

れ

た

各

有

効

開

 $\Box$ 

部

 $\mathcal{O}$ 

上

端

位

メ

1

ル

当 該 居 室  $\mathcal{O}$ 基 準 点 か 5 当 該 防 煙 区 画 に お け

る

防

煙

垂

れ

壁

 $\mathcal{O}$ 

下

端

ま

で

 $\mathcal{O}$ 

高

う 5 最 大  $\mathcal{O}$ £  $\mathcal{O}$ 単 位

さ  $\mathcal{O}$ 

メ

 $\vdash$ ル

居 室  $\mathcal{O}$ 基 準 点 か 5 当 該 防 煙 区 画  $\mathcal{O}$ 天

当  $\mathcal{O}$ 面 位 平 メ ]

 $A_{room}$ 

当

該

防

煙

区

画

 $\mathcal{O}$ 

床

面

積

単

位

平

方

メ

]

1

該 居 室 床 積 単 方

当 該 防 煙 区 画 12 設 け 5 れ た 有 効 開  $\Box$ 部  $\mathcal{O}$ 種 類 に 応 じ、 そ れ ぞ れ 次  $\mathcal{O}$ 表 に 掲 げ

る 式 に ょ 0 7 計 算 L れ た 当 該 防 煙 区 画 12 設 が け 5 れ た 各 有 効 開 掲  $\Box$ 部  $\mathcal{O}$ 排 煙 量 当 該

(-)当該 設 有 備 当 効 が 該 開 防 令 防 煙 П 第三号 第 部 煙 区 百二十 を 区 画  $\Box$ 排 部 画 に 設 12 煙  $\mathcal{O}$ · 排 · 六 条 設 け 種 П とし 5 煙 け 類 の 三 5 れ  $\square$  $\mathcal{O}$ た場合に た れ 第 有 壁 た に 排 効 項 お 煙 開 当  $e_{(sc)} = max \left\{ 19A_{s(sc)} \right\}$ 該 防 煙 区 画 部 12  $h_{s(sc)}$ ,  $\frac{76A_{s(sc)}\sqrt{H_{c(sc)}}}{}$ 設  $\mathcal{O}$ 排 け 5 煙 量 れ た 各 有 効 1.8 開

効 開 合  $\mathcal{O}$ 有 開 放 に 効 に あ  $\Box$ 開 部 伴 9 て  $\Box$ か 11 部 5 開 は 放  $\mathcal{O}$ とい 当 3 距 離 該 れ 、 う。 ) が三十 る 防 当 煙 該 区 0) メ 防 画 排煙量 ] 煙 に 1 設 区 け ル 画  $\mathcal{O}$ 以 5 に 合 内 設 れ . 計 た で け あ 各 5 のうち最小の る 有 n ŧ た 効 開 他  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$  $\Box$ 以 有 部 下 効 及 ŧ 開 び 当  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 該 部 1 単 に  $\mathcal{O}$ 有 位 お う 効 5 開 1 当 <u>\f</u> て  $\Box$ 方 該 部 他 有  $\mathcal{O}$ 

メ

]

1

ル

毎

分)

号 位 号 煙 状 て 下 第 け 適 自  $\Box$  $\mathcal{O}$ 面 か 設 自 然 か 置 態 合 5 兀 る  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ か 当 第三 備 第 第 開 に 部 5 L 排 号 位 5 12 動 九 第 係 以 該 あ 的 分 煙 + か 置  $\mathcal{O}$  $\Box$ 号 号 る 外 居 る に に 高 か 関 5 に 面 七 号 第 号 つ、 積 部 室 給 開 さ 係 係  $\mathcal{O}$ 排 (空 排 ま ま に 排 が 規 六 分 に 気 放 煙 る 気 係 で、 当 定 で 号 を 煙 煙 設 さ 部  $\Box$ П を 該 ま る 除 が  $\mathcal{O}$ 分 設 け れ  $\mathcal{O}$  $\Box$ 排 第 設 ك を 部 く。 備 5 又 開 八 規 で  $\mathcal{O}$ 居 除 定 出 八 壁 室 7 及 分 が れ け は 放 メ 号 う。 す を 5 常 < た び に 同 に  $\mathcal{O}$ る能 以 第十 除 当 時 壁 お れ 連 1 項 下 排 開 第 け 第 該 た 動 ル  $\mathcal{O}$ 力 煙 る 以 床 号 兀 排 t 放 に L

	(四)								( <u>=</u> )	
	その他の有効開口部	に適合するもの	(i)、(ii)(1)及び(2)並びにニの規:	第二号イ、ロ1、3及び5、	(3) (1)、(2)及び(3)(i並びにニ又 (1) (1) (2) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	四百三十七号第一号イ、ロ⑴及び	設備が平成十二年建設省告示第千	、当該防煙区画に設けられた排煙	有効開口部を排煙口とした場合に	定に適合する場合を除く。)
、w及びsωは、それぞれ次の数値を	$e_{(sc)}=0$								$e_{(sc)} = min(s_{(sc)}, 550A_{s(sc)})$	

 $A_{s(sc)}$  $h_{s(sc)}$  $e_{(sc)}$ 毎 当 当 当 分) 該 該 該 有 有 防 効 煙 効 開 開 区 画 П  $\Box$ に 部 部 設  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 上 開 け 5 端 П と れ 面 た 下 積 各 端 単 有  $\mathcal{O}$ 位 垂 効 開 直 平 距 П 部 離 方 メ  $\mathcal{O}$ 単 1 排 位 } 煙 量 ル メ 単 位 1 ル <u>\( \frac{1}{2} \)</u> 方 メ 1 1 ル

 $A'_{s(sc)}$  $H_{c(sc)}$ ル 当 当 該 該 有 居 室 効 開  $\mathcal{O}$ 基  $\Box$ 準 部 点 及 び カゝ 5 他 当  $\mathcal{O}$ 有 該 有 効 効 開 開  $\Box$ 部  $\Box$ 部  $\mathcal{O}$ 開  $\mathcal{O}$ 中  $\square$ 心 面 積 ま で  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 合 計 高 さ 単 単 位 位 <u>\frac{1}{2}</u> 方 メ

 $A_a$ は 当 常 該 時 居 開 室 放 に 状 設 態 け に 5 あ る れ た 給 給 気 気 П 12  $\Box$ (当 限 る。 該 有 効  $\mathcal{O}$ 開 開  $\Box$ П 部 面 積  $\mathcal{O}$ 開  $\mathcal{O}$ 合 放 計 に 伴 1 単 開 位 放 さ 平 れ 方

1

ル

 $W_{(sc)}$ 当 該 有 効 開  $\Box$ 部  $\mathcal{O}$ 排 煙 機  $\mathcal{O}$ 空 気 を 排 出 することができる 能 力 単 位 <u>\f</u>

1

ル

方 メ ] 1 ル 毎 分)

メ

又

メ

1

 $S_{(sc)}$ 空気 当 を排出することができる能力 該 防 煙 区 画 12 係 る送 風 機 の当 該 単 防 煙 位 区

<u>\\</u>

方

メ

1

ル

毎

分

画

に設

け

5

れ

た有

効

開

 $\Box$ 

部

か

5

イ に 撂 げ る 居 室 以 外  $\mathcal{O}$ 居 室 で 床 面 積 が 千 五. 百 平 方 メ 1 ル 以 下  $\mathcal{O}$ ŧ  $\mathcal{O}$ 次  $\mathcal{O}$ 式 12 ょ 0

口

7 計 算 した当該居 室  $\mathcal{O}$ 有 効 排 煙 量 単 位 立 方 メ 1 ル 毎分)

$$V_{e(room)} = 0.4 \left( rac{H_{st(room)} - 1.8}{H_{top(room)} - 1.8} 
ight) E$$

 $V_{e(room)}$ 

 $\sum$ 

 $\mathcal{O}$ 

式

に

お

1

 $V_{e(room)}$ 

 $\overline{H_{st(room)}}$  $H_{top(room)}$ 及 び E は、

そ れぞ れ 次  $\mathcal{O}$ 

数

値

を

表

す

ŧ

0

とする。

当 該 居 室  $\mathcal{O}$ 有 効 排 煙 量 単 位 <u>\( \frac{1}{2} \)</u> 方 メ ] 1 ル 毎 分

亚 単 ] 1

均 位 メ

 $\overline{H_{st(room)}}$ 

当

該

居

室

 $\mathcal{O}$ 

基

準

点

か

5

当

該

居室

に

設

け

6

れ

た

各

有

効

開

П

部

 $\mathcal{O}$ 

上

端

ま

で

 $\mathcal{O}$ 

高

さ

 $\mathcal{O}$ 

E  $H_{top(room)}$  $\mathcal{O}$ ル 居 居 れ ょ 当 合 以 室 室 た 当 0 内 計 該 該 7 に に 有 当 設 設 居 計 居 で 効 該 室 室  $\mathcal{O}$ あ 開 算 け け うち 居 5 に 5 L る  $\mathcal{O}$ 室 れ 部 た 設 基 t れ 最 当 に た け た 準  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 設 5 点 小 他 各 種 該 け  $\mathcal{O}$ 以 有 類 居 れ か  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 室 5 5 下 種 ŧ 有 効 が た 天 有 効 開 同 12 類 れ  $\mathcal{O}$ 効 開 設 井 た  $\mathcal{O}$ 表  $\Box$ 開 単 有 部 (-)け ま 口 口 効 位 部 に 5 で 及 又 開 び は 部 お  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ れ 当 う 高 <u>\( \frac{1}{2} \)</u> 1  $(\underline{\phantom{a}})$ た  $\mathcal{O}$ 部 方 5 該 各 さ 7 に 種 当 有 掲 有 類 メ  $\mathcal{O}$ う 当 該 他 効 げ 効 に 応 5 該 開 有 開 る 1  $\mathcal{O}$ 居 じ 最 有 効 ル  $\Box$ Ł  $\Box$ 室 毎 部 効 開 部  $\mathcal{O}$ 大 に 開 そ 分 で  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 設 部 開 あ 排 れ ŧ  $\Box$ ぞ け 部 か 放 る 煙  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 場 量 れ 5 5 に 排 単 と 伴 合 次 煙  $\mathcal{O}$ れ 当 距 に  $\mathcal{O}$ 位 た 1 量 1 う。 表 各 開 あ 該 離 有 が 放 0 居 に メ 掲 三 さ 7 室 効 げ 開 + は 12 n 1  $\mathcal{O}$ 排 設 る ル る メ 式 当 部 煙 当 け 量 該 該 に 5

$e = min\{w, 3.9(H_c - 1.8)w^{2/3}\}$	有効開口部を排煙口とした場合に	()
	適合する場合を除く。)	
	の排煙設備が機械排煙関係規定に	
	室に設けられた当該排煙設備以外	
	給気口が設けられたもの(当該居	
	開放され又は常時開放状態にある	
	排煙口の開放に連動して自動的に	
	さが一・八メートル以下の部分に	
	つ、当該居室の壁の床面からの高	
	が自然排煙関係規定に適合し、か	
	、当該居室に設けられた排煙設備	
$\left( \sqrt{1+\left(rac{A_{S}^{\prime}}{A_{lpha}} ight)^{2}}  ight)$	有効開口部を排煙口とした場合に	()
$e=max\left\{19A_{s}\sqrt{h_{s}},rac{76A_{s}\sqrt{H_{c}-1.8}}{10000000000000000000000000000000000$		

	十七号第一号イ、ロ(1)及び(3)、立 月一二年 発言省告元第二四	
	が平成十二年建设省寺示第千四百一、当該居室に設けられた排煙設備	
$e = min(s, 550A_s)$	- 説 - 説 - 説 - 説 - 説 - 説 - 説 - 説 - 説 - 説	$(\vec{\underline{z}})$
	適合する場合を除く。)	
	の排煙設備が自然排煙関係規定に	
	室に設けられた当該排煙設備以外	
	給気口が設けられたもの(当該居	
	開放され又は常時開放状態にある	
	排煙口の開放に連動して自動的に	
	さが一・八メートル以下の部分に	
	つ、当該居室の壁の床面からの高	
	が機械排煙関係規定に適合し、か	
	、当該居室に設けられた排煙設備	

	トル)	
口部の中心までの高さ (単位 メー	H。 当該居室の基準点から当該有効開口	
直距離 (単位 メートル)	h。 当該有効開口部の上端と下端の垂r	
平方メートル)	As 当該有効開口部の開口面積(単位	
	分)	
部の排煙量(単位 立方メートル毎	e 当該居室に設けられた各有効開口部	
	表すものとする。	
"、w及びsは、それぞれ次の数値を	この表において、 e、 As、 hs、 Hc、 A's、 Aa、	
e =	その他の有効開口部	1
	合するもの	1
	、jjj(1)及び(2)並びにニの規定に適	
	二号イ、ロ(1)、(3)及び(5)、ハ(1)(i)	
	ハ(1)、(2)及び(3)(i)並びにニ又は第	

 $A'_s$ 当 該 有 効 開  $\Box$ 部 及 U 他  $\mathcal{O}$ 有 効 開  $\square$ 部  $\mathcal{O}$ 開 面 積  $\mathcal{O}$ 合 計 単 位 平 方 X

トル)

 $A_a$ 当 該 居 室 に 設 け 5 れ た 給 気  $\Box$ **(当** 該 有 効 開  $\Box$ 部  $\mathcal{O}$ 開 放 に 伴 1 開 放 さ れ

又 は 常 時 開 放 状 態 に あ る 給 気  $\Box$ に 限 る  $\mathcal{O}$ 開  $\Box$ 面 積  $\mathcal{O}$ 合 計 単 位

亚

方メートル)

W 当 該 有 効 開 部  $\mathcal{O}$ 排 煙 機  $\mathcal{O}$ 空 気 を

排

出

す

ること

が

で

き

る

能

力

単

位

立方メートル毎分)

S 当 該 居 室 に 係 る送 風 機  $\mathcal{O}$ 当 該 居 室 に 設 け 5 れ た 有 効

開

 $\Box$ 

部

カゝ

5

空

気

を

排 出 す ることが で きる 能 力 単 位 <u>\( \frac{1}{2} \)</u> 方 メ ] 1 ル 毎 分

 $\equiv$ ことが て か 令第百二十 5 でき 当 該 な 階 九 1 か 者 条 5 を 第三  $\mathcal{O}$ 含 避 む。 項 難 第 を 終 以 뭉 了 下 = す に 階 る 規 ま に 定 で 存 す に す る 要 る す 者」 当 る 該 لح 階 時 間 1 に う。 存 す 以 下 Ś 者  $\mathcal{O}$ 階 全 (当 7 避 が 該 難 当 階 完 該 を 了 通 火 時 間 災 5 室 な لح で け 火 れ 1 う。 災 ば 避 が 発 難 する は、 生 L

イ 階 当  $\mathcal{O}$ 各 該 室 階 -等 \_  $\mathcal{O}$ 各 لح 室 *\*\ 及 う。 び 当 該  $\mathcal{O}$ 階 用 を 途 通 に 5 応 な じ、 け れ そ ば れ 避 ぞ 難 れ す 次 ることが  $\mathcal{O}$ 表 に 掲 で げ き る な 式 1 に 建 ょ 築 0 物 7  $\mathcal{O}$ 計 部 算 分 L 以 た 火火 下 災 が 当 発 該 次

に

掲

げ

る

時

間

を

合

計

L

7

計

算

す

る

t

 $\mathcal{O}$ 

لح

す

る

生してから階に存する者が避難を開始するまでに要する時間(以下「階避難開始時間」という

(単位 分

$t_{start(floor)} = \frac{\sqrt{\sum A_{area(floor)}}}{30} + 3$	施設等を除く。)その他の用途(病院、診療所及び児童福祉
$t_{start(floor)} = \frac{\sqrt{\sum A_{area}(floor)}}{30} + 5$	く。) は(病院、診療所及び児童福祉施設等を除 共同住宅、ホテルその他これらに類する用
階避難開始時間	当該階の各室等の用途

口 次  $\mathcal{O}$ 

こ の  $A_{area(floor)}$  $t_{start(floor)}$ 表 に 当 階 該 お 避 難開 階の各室 ١ ر 始 時  $t_{start(floor)}$ 一等の 間 及 び 単 各部  $A_{area(floor)}$ 位 は、 分 分 0) それぞれ次 床 面 積 単  $\mathcal{O}$ 位 数値を表すものとする。 平方メートル)

ま でに要する歩行 式 に ょ 2 て計 時間 算 のうち最 た階に 大の 存 する者 ŧ  $\mathcal{O}$ が 単 当 位 該 階 分  $\mathcal{O}$ 各 室 等  $\mathcal{O}$ 各 部 分か ら直 通階 段  $\mathcal{O}$ に 達 でする

 $t_{travel(floor),i}$ 

ک

 $\mathcal{O}$ 

式に

お

7

lfloor

及

び

υ

は、

それ

ぞ

れ

次

 $\mathcal{O}$ 

数値

を

表すものとする。

 $t_{travel(floor),i}$ 

階

に 存 す る者が当 該 階  $\mathcal{O}$ 

各

室

等

 $\mathcal{O}$ 

各

部

分

か

5

直

通

階

段

 $\mathcal{O}$ 

に

達

す

るま

で

に

要す

る歩

行 時 間 単 位 分

当 該

階  $\mathcal{O}$ 各 室 等  $\mathcal{O}$ 各 部 分 か 5 直 通 階 段

 $\Box$ 

当

該

火

災

室

が

直

通

階

段

0)

出

 $\Box$ 

を

lfloor

合 に お 1 7 は、 当 該 火 災 室  $\mathcal{O}$ 直 通 階  $\mathcal{O}$ 段 出

 $\mathcal{O}$ に 至 る歩 行 距 離 単 位 メ 1

を

除

有

す

る場

でする歩 行 速 度 単 位

メ ]

に 規定

1

毎

分

ル

 $\mathcal{O}$ 

出

 $\Box$ 

 $\mathcal{O}$ 

う

ち、

そ

 $\mathcal{O}$ 

幅

が

最

大

 $\mathcal{O}$ 

ŧ

 $\mathcal{O}$ 

た 階 に 存 す る者 が 当 該 階 か 5 直 ル

ハ

次

0

式

第

一 号

口

る

時

間

単

位

分

 $l_{queue(floor)}$ 

 $\sum N_{eff(floor)}B_{st}$  $\sum pA_{area(floor)}$ 

に ょ 0 て 計 算 通階段 0 出  $\Box$ を 通 過 す る

 $t_{queue(floor)}$ p

ک

 $\mathcal{O}$ 

式

に

お

1

 $A_{area(floor)}$ 

 $N_{eff(floor)}$ 

及 び  $B_{st}$ は、 そ れ ぞ れ

次  $\mathcal{O}$ 数 値を 表 す É のとする。

- 41 -

た

め

に

要

す

						$N_{eff(floor)}$	$A_{area(floor)}$	p		$t_{queue(floor)}$
階段への各出口	当該階から直通	から直通階段への各	通階段の階段室の床	のハにおいて同じ。	いては、当該火災室	当該階から直通階	当該階の各室等の	第一号ハに規定す	分)	階に存する者が当
通階段への各	当該階から直	日日の有効流動	水面積に応じ、そ	)の幅及び種類	室の直通階段への	段への各出口(	8 各部分の床面積	る在館者密度		『該階から直通階
通階段への各	当該階から直	係数(単位 一八	れぞれ次の表に関	並びに当該階から	出口のうち、その	当該火災室が直送	(単位 平方メー	(単位 一平方メー		段への出口を通過
口の有効流動係数	当該階から直通階段への各出	分メートルにつき人)	掲げる式によって計算した当該階	ら直通階段への各出口の通ずる直	の幅が最大のものを除く。以下こ	通階段への出口を有する場合にお	トル)	- トルにつき人)		過するために要する時間(単位

$N_{eff(floor)} = 90$	∑A <sub>st</sub> ≧0.25∑pA <sub>load(floor)</sub> である場合	その他の場合	
$N_{eff(floor)}=90$	I	地上への出口	その他の場合
$N_{eff(floor)}=0$		1	場合が出るである
	段室の床面積出口の通ずる	出口の種類	の 幅

号口に規定する在館者密度(単位 一平方メートルにつき人)	p 第一号
+方メートル)	位 平方
『が地階である場合にあっては、その直上階)までの階段室の床面積(単	当該階が
<ul><li>・階から直通階段への各出口の通ずる直通階段の当該階からその直下階(</li></ul>	A <sub>st</sub> 当該階
	人
5階から直通階段への各出口の有効流動係数(単位 一分メートルにつき	N <sub>eff(floor)</sub> 当 該 階
	る。
Pいて、Nef (floor) Alo、 p 、 Alo 、 Bn 及び Bs は、それぞれ次の数値を表すものとす (floor) Good (floor) Go	この表におい
•)	
である場合	
$\sum A_{st} < 0.25 \sum p A_{load(floor)}$ $N_{eff(floor)} = rac{320 B_{neck(floor)} \sum A_{st}}{B_{st} \sum p A_{load(floor)}}$	

兀

 $A_{load(floor)}$ 当 該 階 カン 5 直 通 階 段 ^  $\mathcal{O}$ 各 出  $\Box$ を 通 5 な け れ ば 避 難 することが で き な 1 建

築

物  $\mathcal{O}$ 各 部 分  $\mathcal{O}$ 床 面 積 単 位 平 方 メ  $\vdash$ 

当

出

П

 $\mathcal{O}$ 

当

 $\Box$ 

 $\mathcal{O}$ 

涌

ず

る

通

 $\mathcal{O}$ 

又

は

当

該

直

通

階

段

カ

5

地

上

若

位

メ

ル

 $B_{neck(floor)}$ 該 幅 該 出 直 階 段 幅

 $B_{st}$ < は 避 難 階 ^  $\mathcal{O}$ 出  $\Box$  $\mathcal{O}$ 幅  $\mathcal{O}$ う 5 最 小  $\mathcal{O}$ £  $\mathcal{O}$ 単

当 該 出  $\Box$  $\mathcal{O}$ 幅 単 位 メ 1 ル

当 該 出  $\mathcal{O}$ 幅 単 位 メ ] ル

 $B_{st}$ 

他 が 令  $\mathcal{O}$ 当 第 建 築 該 百 物 階 +  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 各 部 九 分 居 条 室 に 第 お 当 項 11 該 第 7 避 火 号 難 災 室 上 ホ 支 を 12 障 除 規 定  $\mathcal{O}$ す あ Ź る 当 高 及 さ U 該 ま 当 火 で 該 災 降 居 室 下 室 に す か お る 5 1 た 直 7  $\Diamond$ 通 発 に 階 生 要 段 L す 12 た る 通 火 ず 災 時 間 る 12 主 ょ は た り 当 る 生 該 ľ 廊 た 火 下 災 そ 煙 室 等  $\mathcal{O}$ 

時 間 とす る。

以 下 室 煙 降 下 時 間 と V う。  $\mathcal{O}$ 合 計  $\mathcal{O}$ う 5 最 小  $\mathcal{O}$ ŧ  $\mathcal{O}$  か

6

直

通

階

段

 $\mathcal{O}$ 

出

を

有

す

る

室

に

通

ず

る

各

経

路

上

に

あ

る

各

室

12

0

1

て

次

 $\mathcal{O}$ 

式

に

ょ

0

7

計

算

L

た

		$H_{lim}$	$H_{room(floor)}$	$A_{room(floor)}$	$t_{s(floor)}$	ے ص	$t_{s(floor)} =$
当該室の種類	表に定める数値(以下	当該室の種類及び当	当該室の基準点かな	当該室の床面積(岩	室煙降下時間(単位	式にないて、 $t_{s(floor)}$ 、、 $A_{room(floor)}$ 、。	$\frac{A_{room(floor)}(H_{room(floor)} - H_{lim})}{max(V_{s(floor)} - V_{e(floor)}, 0.01)}$
当該室の開口部に設けられた	「限界煙層高さ」という。)(	当該室の開口部に設けられた防火趴	ら天井までの高さの平均(単位・	(単位 平方メートル)	位 分)	$H_{room(floor)}$ 、、 $H_{lim}$ 、 $V_{s(floor)}$ 及 び $V_{e(floor)}$ は、 それぞれが	<u>m)</u>
限界煙層高さ	単位 メートル)	設備の構造に応じ、それぞれ次の	メートル)			次の数値を表すものとする。	

 $V_{s(floor)}$ 

次 の

イ 又

は

口に掲げる当該

室

の区分に応じ、それぞれ当該

1

· 文 は

口に定める当該

室の

煙等発生量(単位 立方メートル毎分)

端までの高さのうち最大のもの当該室の床面から各開口部の上	その他の構造	
当該室の床面から各開口部の上当該室の床面から各開口部の上	鎖装置を設けた防火設備、煙感知器と連動する自動閉時閉鎖式の防火設備又は随	その他の室
一・八		開口部を有する室直通階段に面する
	防火設備の構造	

1 火災室 次  $\mathcal{O}$ 式 によって計算した当該 室  $\mathcal{O}$ 煙 等 発 生 量 単 位  $\frac{1}{\sqrt{1}}$ 方 メ } ル 毎 分

 $V_{s(floor)} = 9\left\{\left(\alpha_f + \alpha_m\right)A_{room(floor)}\right\}^{1/3}\left\{H_{low(floor)}^{5/3} + \left(H_{low(floor)} - H_{room(floor)} + H_{lim}\right)^{5/3}\right\}$ 

この 式 に お **,** \  $V_{s(floor)}$  $\alpha_f$  $\alpha_m$  $A_{room(floor)}$  $H_{low(floor)}$  $H_{room(floor)}$ 及 び  $H_{lim}$ は、 それ ぞれ 次  $\mathcal{O}$ 数 値 を

表

す

ŧ

 $\mathcal{O}$ 

 $V_{s(floor)}$ 当

とする。

該 室  $\mathcal{O}$ 煙 等 発 生 量 単 位 <u>\f\</u>

方 メ ]

1

ル

毎

分

第 号 に 規 定 す る 積 載 可 燃 物  $\mathcal{O}$ 火 災 成 長 率

第 号 に 規定する内 装 材 料  $\mathcal{O}$ 火 災 成 長 率

 $A_{room(floor)}$ 

当

該

室

 $\mathcal{O}$ 

床

面

積

単

位

平

方

メ

 $\alpha_m$ 

 $\alpha_f$ 

当 該 室  $\mathcal{O}$ 床 面  $\mathcal{O}$ 最 Ł 低 1 位 置 か 5 天 井 ま で  $\mathcal{O}$ 高 さ O平 均 単 位

 $H_{low(floor)}$ 

- 48 -

算 7 あ 下 ک 同 L 7 0 火 た当 r. て、 災 1  $\mathcal{O}$  $H_{lim}$  $H_{room(floor)}$ な 室 口 該 当 開 12 限 以 1 室 外 界 及 場 該 お  $\Box$ 合 部 煙 室  $\mathcal{O}$  $\mathcal{U}$ 1  $\mathcal{O}$ に 煙 当 層 7 室  $\mathcal{O}$ が 等 該 設 あ 高 基 同  $\overset{\text{\tiny }}{\overset{\text{\tiny }}{\smile}}$ 当 さ 発 け 9 壁 準 7 生 5 該 点  $\mathcal{O}$ 単 量 は 火 開 れ か 災 5 上 位 た 口 単 室 に 当 部 天 t と 当: 該 位 あ メ 井  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ ] 経 構 ま に る 該 <u>\f\</u> 造 限 室 路 1 で 方 に 室 0 る ル  $\mathcal{O}$ **(**当 とを 応 壁 メ 高 ] じ、 該 さ 当 1  $\mathcal{O}$ 火 区  $\mathcal{O}$ う 亚 そ 該 災 ル 画 毎 れ 5 室 す 均 経 ぞ 分 路 る 1 か 単 れ ず 5 上 壁 当 位 次 れ に 当 該  $\mathcal{O}$ か あ 室 表 る 該  $\mathcal{O}$ メ 壁。 に ] 他 室 に 掲 至 が  $\mathcal{O}$ げ 室 る 当 以 部 る 該 下 に 式 面 分 火 に す 災  $\mathcal{O}$ に ょ 限 る 室 口 る。 に 0 ŧ に 隣 7 お  $\mathcal{O}$ 計 以 接 で 1

口

	壁の開口部に令第百十二条第十九項第二
$V_{s(floor)} = 0.2A_{op}$	準耐火構造の壁又は不燃材料で覆われた
当該室の煙等発生量	当該壁の開口部の構造当該火災室と当該室とを区画する壁及び

≚の開口部の面積の合計(単位 平方メ ┃	400 当該火災室と当該室とを区画する壁
ノートル毎分)	Vs(floor) 当該室の煙等発生量(単位 立方メ
れぞれ次の数値を表すものとする。	この表において、V <sub>s(floor)</sub> , A <sub>op</sub> 、V <sub>s0</sub> 及びV <sub>e(floor),f</sub>
$V_{s(floor)} = max(V_{s0} - V_{e(floor),f}, 0)$	その他の場合
	られている場合号に規定する構造である防火設備が設け壁の開口部に令第百十二条第十九項第一
$V_{s(floor)} = 2A_{op}$	準耐火構造の壁又は不燃材料で覆われた
	られている場合

1 ル

 $V_{s0}$ 1 に 掲 げ る 式 に ょ 0 7 計 算 た 当 該 火 災 室  $\mathcal{O}$ 煙 等 発 生 量 単 位 立

方

メ

1 ル 毎

Ve(floor),f 分

設 排 け 定 け 煙  $\Diamond$ 次 た  $\mathcal{O}$ る П か 場 当  $\mathcal{O}$ つ、 (1)合 開 該 又 当 は 以 放 火 該 外 に 災 (2)12  $\mathcal{O}$ 連 火 室 場 災 掲 動  $\mathcal{O}$ 合 室 有 げ L に 7 る  $\mathcal{O}$ 効 壁 当 自 排 は 動 煙 該  $\mathcal{O}$ 零 的 床 量 火 لح 災 に 面 す 自 室 開 カ る。 然 放 5  $\mathcal{O}$ さ 区  $\mathcal{O}$ 排 れ 高 分 煙 に 又 関 さ 単 は が 応 係 位 常 規 時 定 そ <u>\( \frac{\frac{1}{3}}{2} \)</u> 開 に 八 方 れ 放 メ 適 ぞ 状 合 メ 態 れ 1 当 た 1 に ル ル あ 以 排 該 る 毎 下 煙 (1)給 分 設 又  $\mathcal{O}$ 気 部 は 備 分 を (2)

(1) さ 場 火  $\mathcal{O}$ 合 災 t れ 床 た 室 に  $\mathcal{O}$ 面 部 限 積 以 分 床 千 る。 を 下 五 面 百 1 カン 防 う。 平 5 煙 次 方 防 以 煙 区  $\mathcal{O}$ メ 下 式 画 垂 有  $\sum_{}$ に れ 1 ょ 効  $\mathcal{O}$ 壁 ル 排 号 以 0  $\mathcal{O}$ 7 下 内 煙 に ごとに、 計 量 端 お 算 ま 11 とい で 7 L 同 た  $\mathcal{O}$ う。  $\overset{\text{\tiny }}{\overset{\text{\tiny }}{\cup}}$ 防 高 各 防 煙 さ 煙 が 垂 限  $\mathcal{O}$ 区 れ 単 有 画 界 壁 煙 位 効 に 排 防 層 ょ 煙 立 煙 高 9 方 て 量 垂 さ 以 メ  $\mathcal{O}$ れ 区 ] う 壁 上 画 さ ち で 1 で 最 区 ル あ れ 毎 小 画 る た

分

- 51 -

を

設

12

 $V_{e(floor),i} = A_{(floor)}^* E_{(floor,sc)}$ 

 $V_{e(floor),i}$ 

こ の 式 に お 1 て、

0

 $V_{e(floor),i}$ 

各

防

煙

区

画

 $\mathcal{O}$ 

有

効

排

煙

量

単

位

<u>\\</u> 方

メ

1

ル

毎

分

A\* (floor)

当

該

防

煙

区

画

 $\mathcal{O}$ 

壁

又

は

天

井

に

設

け

5

れ

た

開

П

部

 $\mathcal{O}$ 

床

面

カン

5

 $\mathcal{O}$ 

高

さ

 $A^*_{(floor)}$ 及 び

 $E_{(floor,sc)}$ 

は、 それぞ

れ

次

0)

数

値

を

表

す

ŧ

のとす

る

が 限 界 煙  $\mathcal{O}$ 

層 高 さ 以

上

 $\mathcal{O}$ 

部

分

以

下

限

界

煙

層

高

さ

有

効

開

 $\Box$ 

部

کے

1

- 52 -

有 無 及 び そ  $\mathcal{O}$ 

上

端

 $\mathcal{O}$ 

位

置

に

応じ、

それ

ぞ

れ

次

 $\mathcal{O}$ 

表

に

掲

げ

る

た当

該

防

煙

区

画

 $\mathcal{O}$ 

排

煙

効果係数

算

う。

式によって計

限

界

煙

層

高

さ有い

効

開

限

界

煙

層

高

さ有

当

該

防

煙

区

画

 $\mathcal{O}$ 

排

煙

 $\Box$ 

部

 $\mathcal{O}$ 

有

無

効

開

 $\Box$ 

部

 $\mathcal{O}$ 

上

端

効果係数

 $\mathcal{O}$ 

位

置

この表において、 A* <sub>(floor)</sub> 、		口部がある場合限界煙層高さ有効開	口部がない場合 関界煙層高さ有効開
$H_{st(floor)}$ $H_{w(floor)}$ $H_{lim}$ $H_{top(floor)}$	$\overline{H}_{st(floor)}$ ≧ $H_{w(floor)}$	$\overline{H_{st(floor)}} < H_{w(floor)}$ である場合	l
A <sub>sc</sub> 及 び A <sub>room(floor)</sub> は、 それ ぞれ	$\begin{split} A_{(floor)}^* &= 0.4 \left( \frac{\overline{H_{st(floor)}} - H_{lim}}{H_{top(floor)} - H_{lim}} \right) + \\ 0.6 \left( 1 - \frac{A_{sc}}{A_{room(floor)}} \right) \left( \frac{\overline{H_{st(floor)}} - H_{w(floor)}}{\overline{H_{st(floor)}} - H_{lim}} \right)^2 \end{split}$	$A_{(floor)}^* = 0.4 \left( rac{\overline{H_{st(floor)}} - H_{lim}}{H_{top(floor)} - H_{lim}}  ight)$	$A_{(floor)}^{\ast}=0$

次  $\mathcal{O}$ 数 値 を 表 す ŧ  $\mathcal{O}$ とす

 $A_{(floor)}^*$ 当 該 防 煙 区 画  $\bigcirc$ 排 煙 効 果 係

数

 $H_{st(floor)}$ 層 当 該 高 さ 有 室 効  $\mathcal{O}$ 開 基  $\Box$ 準 部 点  $\mathcal{O}$ か 上 5 端 当 ま 該 で 防  $\mathcal{O}$ 煙 高 区 さ 画  $\mathcal{O}$ に 亚 設 均 け 5 単 れ た各 位

メ

限

界

煙

ル

 $H_{w(floor)}$ 下 当 端 該 ま で 室  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 高 基 さ 準  $\mathcal{O}$ 点 う カュ 5 5 最 当 大 該  $\mathcal{O}$ 防 煙 ŧ  $\mathcal{O}$ 区 画 単 に 位 お け る メ

限 界 煙 層 高 さ 単 位 メ 1

 $H_{lim}$ 

大  $\mathcal{O}$ £  $\mathcal{O}$ 単 位 メ ] 1 ル

ち

 $H_{top(floor)}$ 

当

該

室

 $\mathcal{O}$ 

基

準

点

か

5

当

該

防

煙

X

画

 $\mathcal{O}$ 

天

井

ま

で

 $\mathcal{O}$ 

高

さ

 $\mathcal{O}$ 

う

当 最 該 防 煙 区

 $A_{sc}$ 

画  $\mathcal{O}$ 床 面 積 単 位 平 方 メー 卜

防

煙

垂

れ

壁

 $\mathcal{O}$ 

 $A_{room(floor)}$ 

 $E_{(floor,sc)}$ 効 あ れ 5 開 た れ 当 る そ 場 限 た れ 該 ぞ 部 合 界 各 防 当 煙 に 限 煙 及 n 該 界 び あ 層 次 区 室 当 高 煙 0  $\mathcal{O}$ 画  $\mathcal{O}$ 表 該 7 層 に さ 床 限 有 高 設 は 12 面 界 効 掲 さ け 積 煙 当 開 有 げ 5 該 層 る П 効 n 単 式 た 高 防 部 開 位 さ 煙 に  $\mathcal{O}$ 限  $\Box$ 有 界 部 ょ 区 種 平 煙 効 画 類  $\mathcal{O}$ 0 方 開 排 が に 7 層 メ 設 計 高 同 煙 ] さ 表 部 け 量 算 1 有 5 (-)L  $\mathcal{O}$ 当 開 又 た 効 れ は 該 当 開 放 た 12 各  $(\underline{\phantom{a}})$ 防 該  $\Box$ 伴 部 限 に 煙 防 11 界 掲 区 煙  $\mathcal{O}$ げ 開 煙 種 画 区

類

に

応

当

該

防

煙

区

画

に

設

け

5

れ

た

他

 $\mathcal{O}$ 

限

界

煙

層

高

さ

有

効

開

 $\Box$ 

部

 $\mathcal{O}$ う

5

当

該

放

さ

れ

る

層

高

さ

有

る

ŧ

 $\mathcal{O}$ 

で

に

設

け

5

画

に

設

け

限

界

煙

層

高

さ

有

効

開

 $\Box$ 

部

カン

5

 $\mathcal{O}$ 

距

離

が

+

メ

1

ル

以

内

で

あ

る

ŧ

 $\mathcal{O}$ 

 $\mathcal{O}$ 

排

煙

量

 $\mathcal{O}$ 

合

計

 $\mathcal{O}$ 

う

5

最

小

 $\mathcal{O}$ 

£

 $\mathcal{O}$ 

単

位

立

方

メ

1

ル

毎

分

以

下

 $\mathcal{O}$ 

(1)

に

お

1

7

他

 $\mathcal{O}$ 

限

界

煙

層

高

さ

有

効

開

 $\Box$ 

部

7)

う。

- 55 -

			()			
態にある給気口が設けられに開放され又は常時開放状口の開放に連動して自動的	<ul><li>メートル以下の部分に排煙の床面からの高さが一・八</li><li>適合し、かつ、当該室の壁</li></ul>	備が自然排煙関係規定煙区画に設けられた排煙のとした場合に、当	限界煙層高さ有効開口部を	種類	限界煙層高さ有効開口部の	当該防煙区画に設けられた
		\\\\(\alpha d loor)\)	$e_{(floor,sc)} = max \left\{ 19A_{s(sc)} \sqrt{h_{s(sc)}}, \frac{76A_{s(sc)} \sqrt{H_{c(sc)} - H_{lim}}}{\sqrt{1 + \left(\frac{A_{s(sc)}'}{A_{s(sc)}}\right)^2}} \right\}$	の排煙量	各限界煙層高さ有効開口部	当該防煙区画に設けられた

								()				
態にある給気口が設けられに開放され又は常時開放状	口の開放に連動して自動的	メートル以下の部分に排煙	の床面からの高さが一・八	適合し、かつ、当該室の壁	設備が機械排煙関係規定に	防煙区画に設けられた排煙	排煙口とした場合に、当該	限界煙層高さ有効開口部を	適合する場合を除く。)	設備が機械排煙関係規定に	た当該排煙設備以外の排煙	たもの(当該室に設けられ
								$e_{(floor,sc)} = min\{w_{(sc)}, 3.9(H_{c(sc)} - H_{lim})w_{(sc)}^{2/3}\}$				

	の規定に適合するもの
	(1) (i) (ii) (ii) (グ及び(2) 並びにニ
	号イ、ロ(1)、(3)及び(5)、ハ
	及び(3)i)並びにニ又は第二
	イ、ロ(1)及び(3)、ハ(1)、(2)
	示第千四百三十七号第一号
	設備が平成十二年建設省告
	防煙区画に設けられた排煙
	排煙口とした場合に、当該
$e_{(floor,sc)} = min(s_{(sc)}, 550A_{s(sc)})$	限界煙層高さ有効開口部を
	適合する場合を除く。)
	設備が自然排煙関係規定に
	た当該排煙設備以外の排煙
	たもの(当該室に設けられ

$H_{c(sc)}$	$h_{s(sc)}$	$A_{s(sc)}$	$e_{(floor,sc)}$	そ これ の	(四)
当該室の基準点から当該限	<b>トレン界煙層高さ有効開口</b>	当該限界煙層高さ有効開口	排煙量(単位 立方メートル)当該防煙区画に設けられた&	ぞれ次の数値を表すものとする 表において、e(floor,sc) As(sc) Hc(sc)	開口部との他の限界煙層高さ有効
界煙層高さ有効開口部の中心	部の上端と下端の垂直距離(	部の開口面積(単位・平方メーク)	毎分) - 一各限界煙層高さ有効開口部の   -	る。 $H_{lim}$ $A'_{s(sc)}$ $A_{a(floor)}$ $W_{(sc)}$ 及び $s_{(sc)}$ は、	$e_{(floor,sc)} = 0$

(2)

(1) に 撂 げ る 火 災 室 以 外  $\mathcal{O}$ 火 災 室 で 床 面 積 が 千 五. 百 平 方 メ

ま で  $\mathcal{O}$ 高 さ 単 位 メ ] } ル

 $H_{lim}$ 限 界 煙 層 高 さ 単 位 メ 1 ル

 $A'_{s(sc)}$ 当 該 限 界 煙 層 高 さ 有 効 開  $\Box$ 部 及 び 他  $\mathcal{O}$ 限 界 煙

層

高

さ

有

効

開  $\Box$ 部  $\mathcal{O}$ 開  $\Box$ 面 積  $\mathcal{O}$ 合 計 単 位 亚 方 メ ] 1 ル

当

 $A_{a(floor)}$ 該

室

に 設

け 5 れ た 給 気

 $\Box$ 当 該 限 界 煙

層 高 さ

開

 $\Box$ 

 $\Box$ 

に

開 放 に 伴 1 開 放 さ れ 又 は 常 時 開 放 状 態 に あ る 給 有 気 効

 $\mathcal{O}$ 開  $\Box$ 面 積  $\mathcal{O}$ 合 計 単 位 平 方 メ ] 1 ル

限 界 煙 層 高 さ 有 効 開  $\Box$ 部  $\mathcal{O}$ 排 煙 機  $\mathcal{O}$ 

空気

を排

出

す

る

 $W_{(sc)}$ 

当

該

限

る

部

 $\mathcal{O}$ 

ことが で き る 能 力 単 位 立 方 メ ]  $\vdash$ ル 毎 分

当 該 防 煙 区 画 に 係 る 送 風 機  $\mathcal{O}$ 当 該 防 煙 X 画 に 設 け 5 れ

た

S(sc)

界 煙 層 高 さ 有 効 開  $\Box$ 部 カ 5 空 気 を 排 出 す ることが で き

単 位 立 方 メ 1 ル 毎 分

能

力

限

 $\mathcal{O}$ 次  $\mathcal{O}$ 式 によって計算 L た当 該 室  $\mathcal{O}$ 有 効 排 煙 量 以下 室有: 効排 煙 量

とい ( 単 位 立 方 メ ]  $\vdash$ ル 毎 分

 $V_{e(floor)} = 0.4$  $\left(\frac{H_{st(floor)} - H_{llm}}{H_{top(floor)} - H_{lim}}\right)$ 

ک 0)

 $\mathcal{O}$ 

とす

 $V_{e(floor)}$ 

当

該

室

 $\mathcal{O}$ 

有

劾

排

煙

量

単

位

立

方

メ

1

ル

毎

式 にお 1  $V_{e(floor)}$ 

 $H_{st(floor)}$ 

 $H_{lim}$ 

 $H_{top(floor)}$ 及 CK

 $E_{(floor)}$ は、

そ

れ ぞ

れ

次  $\mathcal{O}$ 

を

表 す

ŧ)

数 値

点 か 該 室 に設け れ た各 限界煙

 $H_{st(floor)}$ 

当

該

室

 $\mathcal{O}$ 

基

準

5

当

6

層高さ有効開

 $\Box$ 

上 端 ま で  $\mathcal{O}$ 高さの 平 均 単 位 メ

部  $\mathcal{O}$ 

 $H_{lim}$ 

 $H_{top(floor)}$ 

当

該

室

 $\mathcal{O}$ 

基

準

限 界 煙 層 高 さ 単 位 メ

点 か 5 天 井 ま で 0) 高 さの うち 最 大  $\mathcal{O}$ t  $\mathcal{O}$ 単 位

メ

- 61 -

1 ル

 $E_{(floor)}$ 

当 該 室 に 設 け 5 n た 限 界 煙 層 高 さ 有 効 開  $\Box$ 部  $\mathcal{O}$ 種 類 に 応 そ n

ぞ れ 次  $\mathcal{O}$ 表 12 掲 げ る 式 に ょ 0 7 計 算 L た 当 該 室 12 設 け ら れ た 各 限

界

煙 層 高 さ 有 効 開 部  $\mathcal{O}$ 排 煙 量 当 該 室 に 設 け 5 れ た 限 界 煙 層 高 さ 有

効 開 口 部  $\mathcal{O}$ 種 類 が 同 表 (-)又 は  $(\underline{\phantom{a}})$ に 掲 げ る £  $\mathcal{O}$ で あ る 場 合 に あ 0 て は

当 該 室 に 設 け 5 れ た 各 限 界 煙 層 高 さ 有 効 開 П 部 及 び 当 該 限

界 高 さ 煙 層 有 効 高 さ 開 有 П 効 部 開  $\mathcal{O}$ 開 部 放 に  $\mathcal{O}$ う 伴 5 1 当 開 該 放 さ 限 界 れ 煙 る 当 層

離 煙 層 が 三 高 + さ 有 メ ] 効 開 1 ル 部 以 内 لح で あ 1 う。 る ŧ  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 以 排 煙 下 ک 量  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 

合

計

 $\mathcal{O}$ 

う

5

最

小

 $\mathcal{O}$ 

4

(2)

に

お

1

7

他

 $\mathcal{O}$ 

限

界

単 位 立 方 メ 1 ル 毎 分

 $\mathcal{O}$ 

当 該 室 に 設 け 5 れ た 限 界 煙

層

高

さ

有

効

開

 $\Box$ 

部

 $\mathcal{O}$ 

種

類

当 層 該 高

室 さ に 有 設 効 け 開 5 口 れ 部 た  $\mathcal{O}$ 各 排 限 煙 界 量 煙

高

さ

有

効

開

 $\Box$ 

部

か

5

 $\mathcal{O}$ 

距

該

室

12

設

け

5

れ

た

他

 $\mathcal{O}$ 

限

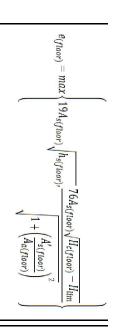
界

煙

層

(-)

され 室 る場 機 排 放 カン 自 排 限 る ル **(当** 給 以 に 界 械 煙 に 5 然 煙 カゝ 合 該 気 下 設 排 つ、 設 又 連 0 排 П 煙 とし 高 け を除く。 煙 室 は 煙 備 動  $\mathcal{O}$ П 層 さが 当 関 以 に が 常 部 関 5 高 ) た場: 設 さ有 設 分 該 外 時 係 て 係 れ 規 に た け け 自  $\mathcal{O}$ 開 室 規 排 定 排 定 合 効 5 5 放 動 排  $\mathcal{O}$ に、 れ 状 煙 に 煙 れ 的 煙 八 壁 に 開 た た 態 適 設 適 設 メ に П П  $\mathcal{O}$ 当 合す 備 当 開 ] 備 部 ŧ に  $\mathcal{O}$ 床 合 該  $\mathcal{O}$ あ 放 開  $\vdash$ 面 が 該 を が



													(_)	
る場合を除く。)	自然排煙関係規定に適合す	排煙設備以外の排煙設備が	(当該室に設けられた当該	る給気口が設けられたもの	され又は常時開放状態にあ	放に連動して自動的に開放	ル以下の部分に排煙口の開	からの高さが一・八メート	、かつ、当該室の壁の床面	機械排煙関係規定に適合し	室に設けられた排煙設備が	排煙口とした場合に、当該	限界煙層高さ有効開口部を	
													$e(floor) = min\{w(floor), 3.9(H_c(floor) - H_{ltm})w(floor)^{2/3}\}$	

$e_{(floor)}=0$	開口部	(四)
	に適合するもの	
	(ii)(1)及び2)並びにニの規定	
	ロ(1) (3) 及び(5) (1) (i)、	
	(i)並びにニ又は第二号イ、	
	(1) 及び(3) ハ(1) (2) 及び(3)	
	四百三十七号第一号イ、ロ	
	平成十二年建設省告示第千	
	室に設けられた排煙設備が	
	排煙口とした場合に、当該	
$e_{(floor)} = min(s_{(floor)}, 550A_{s(floor)})$	限界煙層高さ有効開口部を	( <u>=</u> )

Hu 限界煙層高さ(単位 メートル)	での高さ(単位 メートル)	Hc(floor) 当該室の基準点から当該限界煙層高さ有効開口部の中心ま	位 メートル)	hs(floor) 当該限界煙層高さ有効開口部の上端と下端の垂直距離(単	トル)	As(floor) 当該限界煙層高さ有効開口部の開口面積(単位 平方メー	単位 立方メートル毎分)	・ 当該室に設けられた各限界煙層高さ有効開口部の排煙量( ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	れぞれ次の数値を表すものとする。	この表において、 $e_{(floor)}$ $A_{s(floor)}$ $h_{s(floor)}$ $H_{lim}$ $A'_{s(floor)}$ $A_{a(floor)}$

 $A'_{s(floor)}$  $A_{a(floor)}$  $\mathcal{O}$ 口 当 当 開 部 放 該 該  $\mathcal{O}$ 室 限 に 開 界 伴 に  $\Box$ 煙 設 11 面 開 け 積 層 高 放 5  $\mathcal{O}$ さ さ れ 合 有 れ た 計 給 又 効 単 は 気 開 常 位  $\Box$ 部 時 当 亚 開 及 方 放 該 び 状 限 メ 他 態 界 1  $\mathcal{O}$ に 煙 1 限 あ 層 界 ル る 高 煙 給 さ 層 気 高 有 さ  $\Box$ 効 開

S(floor)

当

W(floor)

لح 当 が で 該  $\mathcal{O}$ き 開 限 る 界  $\Box$ 煙 能 面 力 層 積 高  $\mathcal{O}$ 単 さ 合 有 計 位 効 単 <u>\( \) \( \) \( \) \( \)</u> 開 方 位 П 部 メ 平  $\mathcal{O}$ 方 1 排 煙 ル メ ] 毎 機

1 ル 毎 分

メ

該 口 部 室 に か 係 5 空 る 気 送 を 風 排 機 出  $\mathcal{O}$ す 当 ることが 該 室 に 設 できる け 5 れ 能 た 力 限 界 単 煙 位 層

高

さ

有

立

方

1

効

開

分

 $\mathcal{O}$ 

空

気

を

排

出

す

る

1

ル

に

限

る

 $\Box$ 

部

 $V_{e(floor)}$ 次  $\mathcal{O}$ 1 又 は 口 に 掲 げ る 当 該 室  $\mathcal{O}$ 区 . 分 に 応 じ、 そ れ ぞ れ . 当 該 1 又 は 口 に 定  $\Diamond$ る当

該

室

 $\mathcal{O}$ 

床

面

か

有 効 排 煙 量 単 位 <u>\f\</u> 方 メ ] 1 ル 毎 分

1 床 面 積 千 五 百 亚 方 メ 1 ル 以 内ごとに、 防 煙 垂 れ 壁 に ょ 0 て 区 画 さ れ た 室

5 防 煙 垂 れ 壁  $\mathcal{O}$ 下 端 ま で  $\mathcal{O}$ 高 さ が 限 界 煙 層 高 さ 以 上 で あ る 場 合 に 限 る。 防 煙 区 画

有 効 排 煙 量 単 位  $\frac{1}{2}$ 方 メ 1 ル 毎 分

単 位 <u>\f\</u> 方 メ } ル 毎 分 口

1

に

掲

げ

る

室

以

外

 $\bigcirc$ 

室

で

床

面

積

が

千

五.

百 平

方

メ

]

1

ル

以

下

 $\mathcal{O}$ 

ŧ

 $\mathcal{O}$ 

室 有

効

排

煙

量

 $\mathcal{O}$ 告 示 は 建 築 基 潍 法 施 行 令  $\mathcal{O}$ 部 を 改 正 す Ś 政 令 **令** 和 元 年 政 令 第 百 八十 号)  $\mathcal{O}$ 施 行  $\mathcal{O}$ 日

令 和

年

兀

月

日

か

5

施

行

す

る。

附

則

68 -